

みんなに親しまれる図書館を目指して



TenTou's (テントウズ) の皆さん
図書館を今よりも良くしたいという、子育てグループや読み聞かせグループ、個人で構成されています。(平成23年11月結成)

●北播磨地域の図書館の貸出状況 【平成22年度】

図書館名	自市町民一人当たりの貸出冊数	自市町民の登録率
西脇市	3.0冊	31%
三木市	7.8冊	45%
小野市	9.2冊	37%
加西市	6.3冊	46%
加東市	11.4冊	38%
多可町	6.6冊	30%

図書館の貸出冊数は7年連続で伸びており、7年前と比較すると1.5倍になっていますが、近隣市町と比較するとまだまだ少ないのが現状です。現在図書館では、特に子どもの図書を充実させ、また、おはなし会を開催するなど読書のすそ野を広げようと取り組んでいます。

今回は、利用者の皆さんにとって図書館がもっと身近になるよう西脇市図書館サポート隊「テントウズと一緒に」の春の図書館まつりを開催(5月13日)。竹内日出男さんの講演をはじめ、子ども向けの読み聞かせ、母の日の工作など親子で楽しめるイベントとなりました。



テントウズはどなたでも参加いただけます。私たちと一緒に図書館を盛り上げていきたいと思います。

西脇市図書館サポート隊「TenTou's(テントウズ)」は、図書館の充実を目的に結成したグループです。このテントウズという名には、市民一人当たりの年間貸出冊数を10冊にしよう!という思いを込めています。近隣の図書館が

皆さんに提案したいのは、読書のスタイルを見直すこと。いつも借りている冊数にあと何冊か余分に借りることで、今までは読まなかった作家との素晴らしい出会いがあるはず。また、夏休みを狙って自由研究や読書感想文の応援にも取り組んでいきたいと考えています。

テントウズ代表 菊澤大助さん

読書スタイルを見直してみませんか

頑張っている中で、西脇市ももっと親しまれる図書館にしようという気持ちで活動をしています。

本をたくさん読んで想像力を養おう

竹内 日出男
西脇市図書館名誉館長



日本人は平均して、1日当たり4時間もテレビを見ているというデータがあります。これは世界と比較しても多いと言えます。テレビが普及して私たちが手にする情報は飛躍的に多くなりました。しかし一方で、テレビが人間の想像力を低下させるというマイナスの要素を忘れてはいけません。それに加えて子どもたちの身の回りにはテレビゲームなどの娯楽が溢れています。

活字から想像することは子どもにとっては非常に大切なこと。読書を通して想像力を鍛えていただきたいと思います。